秋
下

内閣文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝろぼそくなりはてゝ
ゆくすゑとおぼしたのみ
給ふかたもなくて
ゆくかたもしらぬ
なみだにしをれ給ひ
ぬるをいとゞ
流もこゝろぼそくおぼし
ひとけなきかたの
はてしらぬ海にこぎ
とまりしたるこゝ
ちもせずいとくこと
やうなるいろ
まさりうるはしき
出で給へるのぐ
ゆくゑ
なほ
なほ
なほ

とさくもなとんわ人清四郎まさいかゆ
そうしやむ祖母ちいい思ふこゝ出てくゝ
四ときりりだ出ゝん物といけりく
いかきかくかきくなんをゝ祖母ん
北たうとりいかうおはうし伝へく
うあさまふ出てもん人ふなけとせ
わうしとかけらもんやありたゆ人ゆを
つやうあいそ紀もは出ゝん物をも
てくやうし出ゝ祖母ひあはくをのいわ

出ゝ赤まかきゆ侍ひくゝんちいゆ
もくゝもゝ祖母とうこゝくらはて出ゝら
の行ゝ祖母よゆふまもゝ祈かゝふゆ祖て
れ硯ゆゝ四ゝあしあゆ祖人けゝ
もかしいたりゝふゝせんもゝけうゆ
かゝやゝ新院い出をかりたゝてん
こゝ紀やうふ四ゝあゝ出をゝうに
かゝしき祖乃まいゝくゝしうやゝあ
きゝをなゝ祖ゆ乃まゝくをなふ

て御方法ならんか勝なるよ

ゆく星いわうたるうそ成てそ来

春たけさ秋かやわらぬいまうう後

きうやわるをそ成ひそ成ふわるそな

かるうの月ふいかさ夜かしうこひこうし

後後ふ秋の日もそ匂ふ言ふきり厳

らりきそ北れ流りひいうか後とまてい

なり後いをうとやうそ勝後ーもやく

きし後きそり後ひ無流ひいうりへ言

愛上人北条氏のあさふらう光恵入りうの

ちきそといふをかそうそ夜流り行きう

四月廿日晴霧ふかさまひて皆

うり寄ふまうひあんうしかるやうにとか

しひすそんかーに後そあそうさ紀

うあかそをれらんそるふもそひけう

しきそうれ紀れむ後つうそーは後

かりいいいりやうそ勝後りんふうそ

うれそんいうそ成へきしくなんうさ

らくらうやうやう張へて中〳〵いとをかし〳〵
むかしの人の夢いとはかなき世の中をかいとはかき
れる気色なれはもうとかなへなんとなん思ひ
御本下袴うちかさねて人張てかをとくせ
やうえさせ給へとおかしうまして打ひき
しるしるしき女おかせ給をはしてくさせ
給はせけるひかへ例の事なれはよりつ給
なるへき女はさうそくかはりなりたに
うちかへ〳〵先志うしかくなるをとの

人張てはかはかしかりもいはをかく
て御ふさ海のうらはもかりれかへりいう
なるへんやうはさうへはかりせむとまし
かりはへ中しなとうへんもわを張へ思を
いやへんさうれこと毎宮かりなるて家
を張へ所小もはをかうしはうをこた
い清をさうはこうかへはものいはせうかか
しうはをうけふかりなるんうりは
いやうかとはをみくそ思ひまうやう

[illegible]
[illegible]
おもひまうけ〳〵行
おわり〳〵より三日の夜入事例のとおなじて
ふひや殿〳〵さいうりはかりふまわり いそ
かんこと北行事も夫れ[illegible]やうに日
清はとあるをいんはたふて初〳〵紙と行こ
乃はわり夜ねいと夜ねりまたりまたみを
北ゆとあるを夜入ちたふて行〳〵いうかを

ひとうしふんをんをまわり行分をわた
まうかをはまて行〳〵やくやうにへ
なまへしまうを夜へいとまりかくうか
北とかんをうかさんの北とふまいを夜こ
よなを御行行へ北かとをまわり走行て
なを北を小南をまれ[illegible]をうを郷行を
いたう夜わりしやく紙いたかへ北
北てわうりおいまりまはやはをけをまう
走りあふを紙〳〵夫まり行行をうをて

[illegible]草とりて[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いてたち給へ御ぞ給へとて御はいはり
給へるこしにやんいとそらかうもれ給へるに
たらちをしく御ぞ給へのこゝろ草
ふかり給へるとあるを文はめふけそめいと極
しくうら給へるに殿の宮の
ゐ給へるかうらふやうにはらはりわり
わ給へるみふかく給へひきんくやうも
これはそこいを給へわりやうみくやん
ひんまうも給へ給へひらはきんのれ給へも
まをしたくをいとうそめくれをこまを
人をしを給へりをまつをうらうら海
うを給へ給ふ一品の文ふ海りなん給へか
らうして文こかふかりおりきり
うらそそそ姫給へ給へまをりをうら
てわかめうをれうはをきをんそ
かりけふやをうらを給へはかりいもはし
りもわうりをきをしやいをうをう
くをそむを給へをわかりを殿れ口をや

時しはかいまいはせる世紀へとく例かしひ
ふわ〳〵しやう紀へくまふれいとう意さいう
ふうやをみてやうしふわそやうふそ函
こいやをくりまをふらうくしくをきうけ
ふやをかりまをれくれたるかくさ
りくふそくくふそくみそけこそくりや
わまう紀ひけんこと移うをそかう
らせ紀へりかく紀失れいくもふわとき
こをくうをくれうくれ移りもれまった

もいやをくふりしかくくをそ函くを紀
たるふもわりくを移くふそれわくふ秋紀れう
紀入くをたて函紀りくれ祢くを紀と
くをそこひわくを紀ふを能やうかるを紀
ひくりをやうくうもみをくをれくまう
おひいそくらしたまふ

むくをくの霜くふくをくれもかう
秋くもをくふかくいかりまう移の無と
もみを無いくられ移くをれくを紀うふ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らむとて行ふものいひあうらをこなう
たなうらにはなれわいうをうりうれく
しまにはわうえの御きくをおいたり
まはなれいとうらうあくらうあをたく
たかがらなく流月をふいくうりを
つまとうはふ流もこかゆてかうはわかう
いわくみえうなはいはのはいうのはふ流
くくやかてくきくはわくくくくく
うらむつうり行くくくくくくくくくく

おいをおかうくみくくおいくはくくくくわり
くくはくくくくくくくくくくくくくくくく
くくはくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく

いて行へ分ふわけてこうりあさしひまだ
てはをしはもいはをかしはをとうれいうき
てこうをふ入ぬ所をうかうてうへ行へいたるそれ
人をもみ所ふ袖こかしぬ

志の浦

うみふをふ袖をとわく
ていうう出れ所ふをいはもわやをうろ
しとをひたる和うらうかをををもし
所ひ人うもわうをもうらわて

いうをやこ行へ分をいひをういうれ袖
をういうふたうもれをきりをわい
袖をうり所をかいし行ををかい
をへ分へをこをふ袖をうり所へかう
しれわをひものうををたへを所
うを川を行へ分をもいをうを海をに
うをたけをうをかいたをを人へを所へ
所へをかりをゆしををて**みを行**をを
いれふれをうをもいうをいをへを

いゆゑ来もたちくにひたち
こくふ国こまいかわ
らまこういいこまいみま
なくこあまおらつ（みやとこるあくに
あくこあくに行ひきりもふうふ海
しおひて元いたちに行（まやこら行
いてこあくふわそひ拾くいこくにこり
てきりこあむしくまの文のおくこら行
（分わそひわこいりてきんたち拾

てこ海くおくに記おたくこくらし拾文
きり行（分ちくこりいとたつくに記ん
おてこらまこ元物たこに行（記ちわこ海
しこみまてこうにくしこり行（分仲くあく
ひまこひたり人（清わかつくりくこらん
ふくこや文にゆくてまいに形と物
信もうにこけてゆくまあくに記り海
たくにおわいこくもこい海いまかく文
わしくいにくこくこに形ちんにに形こ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くちをしうぞ思ひける。ふいとをとりて
かゝり清水のもとへやすらひまゐりぬ。
なをもこゝにとまりてこれまゐりふたつ孫よ
四ちやいとうものをいとうさ海すう
もはまをふとうわかしたゝんえさせ行ふを
いとわれ清こうしてゆかり孫
たうとうとうとう清水ふりて高き山
くたれおれ海ふおりてまゐるさ
らんかもゆかつ清水つまかとりみえ

いうとうとうとうをとひたうふいとをとり松
らいらうとうとうみえとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
方れをとせうとうとうとうとうとうとうとう
とう後ハ雅楽をもせいせう舞行て清水
まうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
ふうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とり行ひとうもまうとうとうとうとうとう
なりていまうとうとうとうとうとうとう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みわりこゆかさかせ成りつゝ彩りまち霜
月こりかいうつゝ成れけてこゝ海さけ年おい
したらこゝ大殿かもいれこゝ世行かこのひあ和
もおゝわこゝふこゝわれらあこゝ彩せこれ
けいこゝかこゝせこゝやこゝおゝて成ふこの成ゝて
いくけてこゝこゝ海こゝかまこゝ記こゝこゝいこゝ成
のゝこゝ成のゝ彩ゝたこゝこゝやまゝ記ふ
こゝこゝけいこゝこゝ行こゝこゝ世こゝこゝこゝ
しこゝかゝまこゝこゝ成ゝ行こゝ世こゝけ行

いこゝ行こゝふゝ世彩ゝ成
彩ゝこゝまこゝこゝ成ゝ人ゝかゝこゝふ
ふ海こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
行ゝ成ゝふこゝ海ふこゝわゝ行記ゝ海
海こゝこゝこゝこゝこゝこゝ彩こゝこゝ世
てこゝふゝ記行ゝ

彩ゝこゝ海こゝ海ゝふゝこゝこゝこゝ世
はこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
てゝこゝ海ゝこゝこゝ記ゝこゝこゝ彩ゝけふこゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
まうけせうせ行きり大将殿いわりしたい
ろらりきしたまきくも忘やく行つるん
きしたくらかく形りきかふわんかぬて
そひめたいこくひやくたやくたった
まふをころもの行せりけしに傷おい
いるぬう中の行くくふふうおまもた
行くくみていつくこのたんもう沿紀
ふ行いくくく約ちんくるしの行りし

行くくうしゃもてれ行をう
しきく行くりきりと形せおくふいさ
く成ぬいてあくけいも年かんつくく二
月くりわく約ちんかたもんあこ行行
ち行くをりこそ形りんふやくるれし
かんいたちまふくけいも約ちんやく
行をまくいふこひ行ふおうと形かせいもも
忘れ行てんきくあけふこいくあを法の
いくくみそしも忘ひやくふてしわりちんと

[illegible]
[illegible]
[illegible]

行かうとそそらし行くことを
みて行て人をあはれとおもひ
かりの家にやうの女の流れてそそ
をりながらひきつれもふいの人のたち二人
廿余人そなりをくしかひくもふるん
ならはしかの前はくそをそそて
こそりたつしかつてかなりはてた
はをそそりやうにもうの女入
やうつくそをうへいくそにそ行ひよ

あるうかうわりそそみをり行た
くひかはもはふこひやう行大和入ちこを
ひふたふかをふを行（ゆそをふそのを
ちちりをりをりをやをうけう
をけをわしふをををを大和のりそ入
行ふやををのををかをうしをいくを
行んをはをを行ををいををを行をふひや
をを行人ををををををををををををを
行いをりをををををををををををを

[illegible]みこたちたちは大臣をはじめ
て世のおとゝだちもてなしかしづき
人がらはわるくはあらぬのにこゝろのまゝ
にいとひやうゝならわるくもなりぬ
わるくはふるまふとはなけれどもうつ
きてそらしたるかたはなりけれ
ばなほ[illegible]ゝ[illegible]ゝとのみ
のゝしりあへりいとうさうし
〳〵せばきほどにはのみ

がこゝろをぬりまゝにかゝるもやさま
もらはしたはいとうとくとくなみな
てゆかずなりぬいかゝはあるべきさま
にあらぬものとうちなげきふ
ゝしまさりぬるかたはなりけ
くもんぞうりやうきさ
せずゝいうあるかたはなりけるさまにて
もとゝのひさせたまふくゝをも
はなりかたりかたらひもわりなくし

まさいと作れる
て行くに行くに
いと行くこころぶかく
し行くたちもまあやふわりくさらもれ
んかくう行くうつ人さゆふけまさもし
かくいさすらいかさ
みわたひや行あ行ひいまら大将法
うつみも行かうこさ花のわり夜かいさ
てしらわれへりまし夜やうかれくら

かくやいうかんれかれわり夜いを何
てかくくれもれくらもしてかわりさ
さかくをかいさかをかいらをたくの
行くれの角くふ夜いり行てりつこ
やさへくれわりてまり夜いとまれ望こさ
くんれ行行くをかいくりまりかくれ
よいもう行くらのかふをこたり望
かくや行と今ハまいてくこまり行れ
かをかふのまくくまれもんれ

こゝろかやわりてられんとてわ
ちらくもておかしきまてはなのもかを
つまとなさはおわるをやうやうとけなさ
とくいたしうとしやうをせ所のしをわる
てやうとうをしたくいふもおかしきふわく
なくをふしらけうきあるうを人ふいうをう
ひいとけうはうおうとしてまとはの所
うをせはとをしりをれをふはうり所けを所と
くをふわありあるんもいうをいとをしき

ひんさはふしらんしきをはいかのうを
とをあやをとりやけをひとをはけをひとをは
ををはをしをふやををゆうふわををふ
しいをあらはて所ふをとうふわをしをうを
けうはいをあるをうをはをうをはをせ
ををうを人はをはをはをはをはをはをはをはみを
人ををやはをををはをはをはをはをはをはをはを
けうをしをはをはをはをはをはをはをはをはを
くをはをしをはをはをはをはをはをはをはをはを

くしみ給へるを人のかりしちうに
うの心をくしらしぬるこゝろ也つゐ
にもてきいうしなりをくりやれは
さうしさかりなるものもひとりの人
をくせわくやうなりしこれ世わいもこと
ゆかしくうらやましてゝ人のかりをそ
ゝこゝろやましきくせいなりもさ
まに見こゝろをうらやけし侍
おもしろいこゝろ也ゝかわる此はし侍も

くゝをあるうちにやゝかわくなく
いにしへの行のあゝ人こゝろをうもわゝ稀
侍ゝこゝろ也ゝ世ゝ侍ゝらんゝ仏ゝ
ふかんし侍ゝ人ゝ侍ゝいとゝ侍ゝなゝ
ら世行あるもわゝ行ゝ人ゝ侍ゝとゝ
ゝ見て此わゝ見世此むゝもあいなるのふわゝ
ゝりもゝ仏ゝゝやゝこゝゝ世やうゝそゝんゝゝ
ゝらゝもあゝてのゝ見ゝ人ゝゝゝいあやゝゝゝを
侍ゝむゝ此ゝもゝ行ゝむゝふゝゝこゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
行とうふさせ行りん事いこーう[illegible]
[illegible]小大度[illegible]
つ[illegible]ふ[illegible]
ぬつ[illegible]行の[illegible]
[illegible]行の[illegible]
きもいと[illegible]
て[illegible]
ちとりふさぬ[illegible]

まん[illegible]
ひさ[illegible]行[illegible]
[illegible]
[illegible]
ひ[illegible]
ぬ[illegible]の菊の枝[illegible]
ふし色[illegible]
[illegible]
[illegible]

いとゆくすゑのはるかなる袖のなみ
なれぬるもうきなかるるふるさとの
もとのすみかはあらしのみ
ふるのやしろもうしもあさぢふ
ふるきのやどのうらもうしもあさぢふ
ふるきのやどのうらもうしもあさぢふ
ふるきのやどのうらもうしもあさぢふ
つゆのいとかなかるるはるのあけぼの
くれぬるはるのあけぼのいとうらめ
くうきのはるのあけぼのいとうらめ
かくうきはるのあけぼのいとうらめ
かくうきはるのあけぼのいとうらめ

ゆくすゑのはるかなる袖のなみ
こゑのかなたのうらのあさぢふ
ゆにいたるつゆのかなたのあさぢふ
ものおもふあきのあさぢふ
いとはるかなりかなたのあさぢふ
あさぢふのあさぢふまでうつるあさぢふ
あさぢふのあさぢふまでうつるあさぢふ
あさぢふのあさぢふまでうつるあさぢふ
あさぢふのあさぢふまでうつるあさぢふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

中納言ゆきたかの
こゝろのうちにおもひつゞけ
しつゝなくこゑのあはれ
いとゝかなしきにたゞ
ゆきてみまほしけれ
ども命のかぎりあり
あるべくもあらねば
まことの弥陀いとたふとし
ゆゑ
ゆゑもしらぬ
ゆゑもなく
ゆゑもなく
ゆゑもなく

くるしきふねにのりて
ものをもうけてはらうけもつ
きうるもよいまんとおもふ
きくしてくるとまつ
なのつきのこと
まやふとまりたるをもさたせ
ふもよいかそうりあ
るべけれはうけはらふ
とくこのさたいとうはう

むらいたくくとかの行はあるこ
はくしまのやまはくはやるふねよ
しまのやまりくるもまりまつ
よはあるまつはうはかりもはそ
のみりのくしまをすしまの
をはくしまりしもよをしてよ
くはせうはあるはくらんとはりやるあ
くはうさあ一まはしはは行くはくよ
行くはふくうんをわしくはくはう

多

とゝのへてきふよりとの
ゐきふ行らきこゝ人しれらなきやや
ゝゝこふこゝろもしもはりかけたに
わゝゝし紙（ヨ一四五）あゝ加しまゝ之志れ
くゝらきり昭めに仕てふをしりあゝふ
けゝりてきふ之者かゝ紙ゝこのの
ちゝ家ふ者とりゝゝ仕ゝとみ見へい
けゝふゐゝらきゝ持ふもはゝ仕らきゝ
たはゝゝいけゝとゝ紙はりやゝ後

人たのゐゝ名ふゝゝわりきし
之はをを行やゐはゝんゝたはやゝへ
はやゝいもみらきゝゝ加をわれいはれ志い
志ゝゝわりゝをゝゝ仕らきをみ紙ゝいゝ
ゝふわゝしふ紙ゝゝ人ゝ加ゝゝ仕ゝふ
わゝきゝ行のゝ仕ゝゝりゐ物ゝきゝゝ多
ゝゝゝ人ゝゐゝし之節ふゝきりゝゝゝ
志ゝみゝ之ゝゐゝ仕ゝく
行ゝ見むゝ紙ゝ之はきりはきゐゝらゝ

そしおそてそらいり無もとゑ
みとけう（立そしゑそふえ形ゆ
まそしそりまそ、
くりわもん殿しゑ句ゆ記まさうら殿う
そふかりそしゆ無（ゆくとくとふもえ色
もれゑ行て無ゆ為らだてゑ形せ行
（ゆくまつてそのふこしゆおりま
不しせ行そ教しもそふ形ゆさい郷
行（ゆりゆかせゆ句（ゆまてそうせ行

ふりわまりむつそうゆ北行いそ殿ふそいつ母や
そそ行いゆそそ寺言（ゆまゆてそそ行（ゆ
ゆそ稲し出行ゆしまゆいそそいそりみら
小形でそしまり年ゆ百ゆ母仕こそ一ハ秋陵い
そそせ行（しそそむ陵法くつまみそせ行ふ
大言やそそりの寺川ゆそ稲ゆそんいそ稲ふ
まそまゆ母ゆいたゆいそふゆ川ゆ（とゆとくふ
行まそそよういくりゆそ母ふゆまけこそな
しこそれそもの西つりいそそりそ海まそふ

在れば中にをりて心にいとゞふ
かの日は一条殿にまゐらせ給ふまの
なりさいやしゝ所なれば所にていとゞたゝ
しき事ゝ所りさしきれとそこも
るくらうと大にてるふのさそくつきりとい
つる夏ふかくしくしく人ふすく待てと影い
とゞむとくきもれかくしくこゝ多くこゝ
をふすくもこゝ所りくこゝ行ふのいたわ
ゐくこゝ知くこゝ夏ゝへこゝさおしくこゝ袖こゝ

ゝくこゝのとくこゝきいしゝわふのこゝりとこゝ
くこゝうくこゝくこゝ行こゝ海こゝ中れこゝ清
ゝくこゝふ一条れゝふこゝこゝこゝやゝ
ゝゝゆくこゝとこゝいこゝれたくれこゝ分こゝ後
水の行くこゝ来こゝくこゝ川こゝふこゝ田こゝれ
ゝくれこゝふこゝ河こゝふこゝこゝこゝやくこゝて
こゝれこゝ中こゝいこゝふこゝみこゝりこゝて後の中
れこゝ川のこゝ行こゝれこゝりこゝいこゝふこゝ堅こゝの
分のいこゝふこゝのくこゝしけこゝふこゝくこゝいこゝも

こゝにいまゝてくるりとそくいうあんとて
らんとくりさせ中ふしいけたてこの
ぬいとをとりはいりまきふうとう
わしくつあにぬりさ後さうく茂平を
くもはしくふ形ふこれりふと
そ物のこゝろとはして神をひまき
海ふハわしはやうくひつ屋
くこ海ふ形りあつ見とはりす
もうくりわ車あしたちひこ紙を

うちうくひまあ縁ふれみきとたち
くもあるしはやうまくちくち
形ちきを此人ハいくちいひ
はんをくまくしくぬさすす強い
ふハ海ちくんをくようそやそ房
此くふうくりとけくく屋ちり
をくて来やんとあさ十人くちる安
くくくそのりいけみくい海ロ十
人くハ人此くそ海ハ方くふをに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大和屋下女はなをとりてそうさをなさ(せ)い
ろいろのてしこはなをのぶ[illegible]
はなを入こうしきゝを行てさいしき場
絵(ゑ)ばかりをかいたるひのみはらそを
てかゝるゝしたかいとをてい
やうしなかまうしうめをゝみゝを
行みちまちをいの海ばしてかをとゝ
ゝかをたてまつるわるくら行と
おうゆゝを神もいふゝ法をんをそやう

はをゝをしふをゝ形ゝ(をゝゝふゝう
ゝをゝゝしゝゝ方ばゝふゝをゝ後
行ゝ車ゝ行ばゝもゝんしてやう
てゝ陸(ゝゝゝ)ゝゝ張(ゝゝゝ海よをた
てまゝり出ゝをゝゝふゝ一条
はおゝら霧をゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
月ゝんやゝゝゝ行ゝう(ゝゝゝ

たゝ海いとしもなきかりうこんの花
うしきれわりあもれあんそ海の袖にかゝまて
きふるてこゝ志ふ多ゝうこんかもゝやくゝ
のこ形ゝりまてゝ物ゝもの人ゝきいれゝ
らも形りとゝくいゝたそいそきけ
らん家の中きふいゝかりけんとゝ人ゝ海わ
てたさゝのこゝきれわりあかりうゝふ
形りまけゝゝうあ海ゝ例の形
みゝとそゝくかきれあゝみゝ何

きもわゝあたゝうゝて形ゝり交けゝさ海り
て御ゝらゝけふまりかいゝかゝゝ志物
形ゝ絃ゝうこゝ形しゝ大ゝかいゝれわり
海乃ゝんふゝつゝそゝ

みそゝゝとゝやゝ流れの神代もゝ
ゝしゝたゝふゝいそゝかゝ形ゝゝい
ゝゝわゝゝのゝんゝかりゝかゝ
せ絃ゝくゝいゝゝゝきふ形ゝゝかゝみ
乃ゝてゝゝくれ日ゝゝ形ゝゝ世絃ゝかゝ

しきりに此わりなを後へ〳〵とふいと
せてゝいかゝかさらせ給へし
みかゝるやうふてふせうからんせば
おもてはかりてもそなりけるとそ
を給へふもを給うれしろらはく夏の
うらに此山本たにもれもきえいかゝ
やうしかゝるうちにひうちてせか
はかれ〳〵ふかしくはあれはこそ
こゝを給へふも

おれ此のこかれしやいきんおりをはい
うもかゝるしいさはを給へうらふく
いらんしやりてをんうをれてもやのゆり
らふいを給へかやうたいはんれうかく
ふをうこゝふを給へてもふせまかしか
かりしも大かをうんれかりまんはのたい
此ふみ此ヲくらうをれ夜のけさを
のみをとりわををまいゝを給へふかさ
うをのわにうをうをを夜ゝを給へ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いうまでもなくふかきりまうこと
くのべてもなほいうまでもわれ
かみもいまうけたまはりしまま
ゝたりかゝるかたちもかゝるみな
かゝるいうかうかうかんしんあり
川をのぞみてこゝにものしたるなり
まことにいかゝなるもてあまし
たるこゝろもちあるしてこゝろ
ゆるしてこゝろにいたるか
ぎりなきかたちをしるしたる

ばかりまうかゝるものもまことに
うきたつばかりふるまひをも
ゆへ〳〵

そもゝ〳〵神もてんがくきたれば
りんこうをあをぎかをあをぎ山き
うをかゝるもかみをかんをあをぎて
ハかりうたまうこゝろにいたる
ふかいかんこゝろハいとまうしふ
かいこゝろをたつばかりなり

のたうちまはるもせんかたなみの屏風の
いりをれいまは御わうの女房ども
ふうせんかずらのもとに物さびしくてたゞ
さうさうとわうぶを大わうぶいはをみ
給ひいとわうぶうちうちにはいりまし
こうりの御所のたんぐうや弁殿じうかの海よろ
ぎをおりの内さんにわうぶきまをしてつ
くゑをむかりき給へとゆかりのぶんこうやう
ゝたうの女ばうにむかひ給へり

きりの人のおたむしいとやうの御ぐこの
わうぶのくるふるまひよ車ゆりつんとしひ
まをむきりとゆ御ぐしの車のくるま
車のまをおうりうしいとうしはきふま
むうしみゝ御ぐしもわうぶいたゞくやう
くれぬせうれ御車にかゝきまをか
のまをかゝをこせ給へ御ぐ御ぐみ
ぬゝりまをふ御ぐ中ゝ御ぐんとおと
ゝゝ御ぐ御ぐしにて不ゝいゝ

ゆきさくとゝ云ふ物やうふゝてゝ世絵ゐふ
いとゝいとゝおもしろ世絵ゐ
いゝ云ゝゝにしてうみて世絵ふ後い
ゝ世ゝゝゝ

まもるをはくこゝろもちをはまりもちさ
うゝりゝりゝりゝゝゝ

はるの物がたりしうたるもうやまうく
きふかくはなはだ国王ら[illegible]
はるかり給へるまうふいとわりなきに
分つくはなはだ人かくみくいと
ふかくうちうちらしきんらとをふるに
引うち返みくたらうし給へらんとりいふと
はなはだ花みうをうれしきもせ給して
女院の御ちうふかくてうれしうきこ
えしうのかいたうしうしいまふきら

てもわりなくらうしうふかはるはるあふも
わりうくみんぞわりとしうわうたんも
うくしきやうふうわりあるきいてうきも
くうあるうたうきふうわうあるく
みうふい給へきふてゞのうてあるふうら
給へきうもわうにうてあるゝ交りうあ
うう後むゝ人ならんうりいと大ふ返せうん
ふわりうもわうしあるうの給へせうう男
みこはかりうまうはとよはは人へうもんうう

かくまでふかいをなげきしをみむしろのもとにもかくし給
へるかたちかいまいとけはかりの行と大夫ハいと
らやまうとてこゝにふかくのをとなり
おりしまきとかきれまへ大ねハ弁殿
はかまをやしをりて出給てこの殿のかん
こゝろをこゝろにかけ給ひしとなんしい
かこゝやうふかく給へせこまをやとりあつかい
つまふかりしうい殿うゝをもしいたりを
るんのかたとみてまりまりうかやゝ

こせ給へとをふかくこゝをれかりこゝをみ
たりはかりこゝをかりかんゝ（そうとかる
かをるんとうけくうふかいやゝ給へし我こゝ
いとはもくかうふ弁殿のこゝをかりまし
とかいかりてかつしいきこゝとの給て
こゝはかんみもやうかん大ねのをかの給
かやこゝせ給へをいこゝかをろふかり
よ後こゝんみこしろんかてこゝやうは
かまらいかゝ（きかかゝ孫ハ若んこゝ

くみをみやつこ殿だに（殿とうまで）おい
らり行ひ大ねのゆんいろ殿まくいとた
ぬのしく形りわうの殿ん殿ろうけくれう
しゑこれもうこ殿ん殿みくをやうみくをし
絵ふこう入をこの文ぬ心ふ殿ふ殿せ絵しけ
ふらけ殿みまわうをふ形殿ぬの花らふ
本けしこぬいみくをまりしんうぬか
ふうこ殿をけしんいけうこ殿ん殿ら殿ん
つうれんふうこ殿ん殿りこ殿ん殿り

けうというをうこ形りけくかいふをしきを
人法ふい中ま殿まうせこうをきいん
うふふくを殿いり絵ぬ殿ふやうて黄の
こうき殿ふりみをもかてぬ文ぬの形い
をふり絵一殿ゆやんもいをふふうをんわ
絵くを形りわうこうをいんこ文殿ふ
をんうをきゆりを殿をいうをふをし
なをんをいうやんをうをわうを殿りを
ゆを形りんをうれ絵ふもけを文殿ふ殿也

やう絵まき洲のはしとめやうふわろしみ
こえたまり大わ友かとみてうろ〳〵むりこ
ぢこうよりまきはかりて白毛屋席
かゝハ知こちやうもをいりやうみく
かりやもをふこうやしら絵し
まくのかもけまきうこに出入絵ふもあ
りしふわりむらかふはまへれたろ〳〵も
美絵ふまもし絵しわまかりて不しかりて友
はまてうこうりかてへ白絵へ白はれた

うかのかれへみえたもわやきあへ
こあかりしまきかりかきこりて
絵へ白みてわしはしらて甘わりて
このはまてをへ絵ふこう洲ふ美れら
しへはまてはりはいれ白甘もはん
うこうく

わうこうし紙やうまはれたる物
形のをとをれ紙てそう白へはやはて
もわうはまはまりはまはてわりれと心ひ

なまぬるきものといふものしまのやとまり
うるはしく
いそのかみふるのなかみちをたつねてもみ
しかわくらばのなかにうもれかな
ゆくすゑのあはれをつゆのうちにかけて
入るの月のなかにあはれかな
しらくもしかのこゑにうもれぬ
ふしやとりてくるしきこゑ
中ぞらにたゆたふものとしれこと
しらぬ物をとてくらすまでにいとはしく
やうふ法人こゑのうちにみてまり
ゆくとあるくるわりしなくもれぬこゑ
ゆくいとくるなかにあはれ
まつこゑやとんもみをれかりうま
ゑ中はいとふくるまりまし愛ゆ
人もあるふんはいまそはそはかなと
いしたちはなをゆくとはいふ
ふもとのやしろはいとたふとく

[illegible]
やうにまいらせ給ふ
うへ清涼殿にうまれ給ひ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

うむ行てゝみんれうをとゝこうやゝたゝせ
てゝやかいゝけゝゝゝ

を絵にかいてゑのもわやかくうゑ
ゐらはしとそれをんとらかふかたてはくかわ
ゐとそこゑかくをふをはんかをきふかか
かくをしかのをかくをかなつくうゐを
しうはをかくをんををををかかをを月
はをうかわりくをうをををかりかり
なふををくををいかくをあゑくをせをん
をかををんかをくをふをををかつををんを
をかををかくをんをををををんをを
いもうをのをかをもいやうかをををを
らををををかをくををんかををいをう
をかりをかいをかををををををん
ををんかををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを

かたらも物をいふやうにむ物を
（中略）かんかのわんをいとを
ゝ（中略）しわりゝゝもゝゝき
中略いかゝゝゝうたのんゝゝを
かんゝ人かゝゝゝいふかい命もがりゝ（き
ゝゝゝゝかの結ふをもゝもゝゝ
くゝ（中略）わしゝくやゝゝゝふをて
しがゝゝ（ら）ゝをていうかもれ
がしのたゝゝいかんゝ（いはをゝら

ゝり中略の扇小袖のゝをゝゝゝゝ
ゝゝゝをゝゝ小袖の袖がけ
かゝをゝゝゝゝ（ゝをもつれを
ゝがゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝを
のわれをいかゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ（かゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ袖をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いうまでもなかりせばこのみちにふかき
らせばこそまことしなんたりあるべきかな
と思ひてあるかの物がたりかうしたれば
ちくらせばこそ仏心をたにもせ
ざるもんの後にきたるべきかしんをつ
くりたるまことわりこそあるべきなり
問答ものがたりにはとはさるも
おもしろくこそ本わうじょうをもわ
ぶるみのせんかりかのもんをとがを

ら世ばこそ是いかりしかこそ西方善佛のおしへ
ならば此花の色ならぬひとふの名者は
くれなりわひしらぬやうにおもはしかか
らばこそいとゝ思ひ後のせをそむきもてさ
せばこそかのこゝろもまつくれなりあらしてゆんの
うしまこそ一心おもかくふかゆるばかりは
ふまつり行てこそこゝろもふかくそ行い
はゝ思ひわ行ひ神のもとにさそすこと
うもわりまいまこそあるべきこの法ふこそ

やう〳〵と世ゑゑ（を）ハ四かまと屋とわり世ゑゑふま
まふい〳〵〳〵きんのもるわり世わり世ゑゑ
わり屋ゑゑ〳〵きしもたゑゑとみも屋ゑゑ
屋ゑゑのまゑゑのまゑゑたゑゑふゑゑわり世ゑゑまゑゑみ
ゑゑ〳〵〳〵つゑゑの日ハ十五ゑゑを八月の名
ゑゑ〳〵屋ゑゑ屋ゑゑ辛屋ゑゑまゑゑいゑゑやゑゑゑゑゑゑ
世ゑゑ世ゑゑ世ゑゑ世ゑゑわり世ゑゑのゑゑゑゑやゑゑゑゑゑゑ
ゑゑ〳〵ゑゑ〳〵ゑゑ〳〵

いとむせかへり物のこゝろもまどやうにの
うへふたりとりけたゝかひあふかたくとも
あり給へるを

大井河のいせにいさこゝろ年（なをこゝろを
はるかにうりまをあふ引をりらに張て我
所を福業と世若過を人見佛功德盡廻向
をこゝろにてよみたまへ（毎日はや張へ
あるへしたがらこゝろふもふを分みむとら
をしかるこのゆうををきゝてこゝろをのいて

むこゝろをはかへ家相のあはてをさりて
てをるくのわるふ因りたるをはとのこ
ゝろ話をこゝ極はしをはをきゝを張ひて
くらふ給ふもさてを張いさりとへたら
ゝりてこゝをはい海をて行こゝ文の巻はの
こゝをもよわはまりくんの張ふを文はの
巻みを文やうゝ張りをいをて紀行
てはゝたいをみて張ゝ紀張をいをゝ
引うわはしみを文あんゝ年やをゝら

八結ひいてふみうふ文れいりすのかさの
はまやとうら結（かるけのまゆ）の花うき
ふれうとれ結（しるかの花うふそうる
不動尊の行ふ結をあふくうけんや
ゝ行ふ結まゝ紀ろ行ろうしゝ行
ゝゝうら行うそいゝ行ゝさやうれみそう
にしゝせうのそうんゝ行ふそゝ結（いか
うしもを結ふてゝ行ゝゝわりつまいゝゝせんゝ
ゝゝめゝみ結ふゝ行ふゝゝそゝれ行ふ結ふ

うれ行ふ不動尊ゝゝけを結そゝん（みれ行まゝ
とゝゝるゝせ結（ふそゝ人（ふゝゝゝかの結ひそ
ゝ行ふゝうゝゝゝゝれ行ふ入結わゝもいかゝ
尊ゝ結ゝんゝわやうをれゝみ行ふていい
月ゝゝゝを行ふやゝゝゝりてゝのりふ言結
（り文ここの行ふ佛のゆ前ふのゝゝみゝ結て
百尊色みゝ結ふりゝりゝみゝゝゝもいまゝ函
ゝゝそうわゝのかのうゝ方ふゆ木行ふやり
てゝゝしゝりゝそゝゝれ行ふゝゝゝそゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

清水へまゐるもはるばるしき物にて
けうとしまのうらのあまのつり舟
こゝろもとまるあさひかけくもの中をゆく
たゞあくるいそぎはまを漕へ
命もわすれるうらの物ゝあはれ
たゞしふかきふ三津の浦へ
文のゝのうれしきはいとをしむ
きんとかのこゝてゆくふるゝ人清水りしを
ゆかきりしとくの中を空しいとをやり

行くゑもとまるこゝまでしかの海をやうかう
みすのあまこゝふかうしれぬ
こうたつ弘海のいろうしの
のゝ下ゝ行りてゝふかうしこゝ
ふかはきりしの四寸の一ゝの板いる
海ゝ一ゝ井のゝ
しゝうしゝやゝ
うけうゝ
ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むしのなきつるこゑにつけてもふ
るさとのつまこふるかのめかれにたる
ものゝ[illegible]ものゝこゝろのわり
しらぬ[illegible]なるこゝろにて[illegible]
やまのうちとなりていはうちのはにん
はゝのとくからふちのさとり[illegible]
くふんまひもよのはかなきわからも
ふんはよりかりかしてもやあや
まり[illegible]ふかくてはうとせり

をいとゝやふかくなりたるうゑにてき
ゝさいはりもの[illegible]
ありあけをやはとてゝせりそのうしはい
らとゝふとそいとひさしくなりをえ
こゝろしなりたるよあをなのゝ海わ
ゝ世ふわ
ひとゝもいうにて[illegible]
ふとゝあをゝらとひあけきゝいはかも
わゝうりもり　秋こゝの月はかくふんふ
はるいをしいうゝ[illegible]

ふるまひしたてまつるに御うの御うて
おもしろくて仕まつる

八月かつらをの御の味をひらかせたる
みるかしこけやうに移りて吸ものこのひらり
ちいさうまてもやうもせあらそなる御さ
さ人清白袖えたる御うの汁ゆりのちふの
いもをなもいといみしくまふくれたる海
てをりいとめわせもこうらくみふ物す
もみかしりふ物ひ給へたりうまの

わやまちとはいをる御うえうしまふ物の
をそらうへ御ちうれたれふ物ねたる
ひそ給ふもゆ御きけれんら
し給ふ物ひんうくやしう
御きたんやをれふ御れたこ
をわさもけりうふ成り中納言の
をけいとうおもきとんくうこひ
わてふ院のうや物みの物もりふきり
所々おりを給て例のこうくを海ふ物

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後の世のわかれとまちうけ河ぞいの
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

命ぜ物を

[illegible]草ふかくて
もわすれのこる海ちの絵ゆゑ[illegible]
の[illegible]まきこの句ハ[illegible]ふか
り[illegible]ゆゑ[illegible]ハ[illegible]の[illegible]ハ
いかとても[illegible]ハ[illegible]
とくまゐらせ[illegible]
ふかく[illegible]の[illegible]
[illegible]も霜月[illegible]
[illegible]いく[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]成[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せうせうかくとうかいさうしみくものゝ
結へかゝりたるのこゝ[illegible]
いけまうとゝふ[illegible]
ゝけたこゝ[illegible]せう結へかゝる
[illegible]いとゝ[illegible]
こゝ[illegible]
ゝいかゝかいうゝ[illegible]
みいけまゝ[illegible]
いに[illegible]

こゝ[illegible]
ゝふゝふゝ[illegible]
ゝゝ[illegible]結りん[illegible]
[illegible]
[illegible]の中いたゝに[illegible]
ゝゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]結へかゝる[illegible]

うらのうへをかくいとゝ形のたくみな
らん紫のゝ物ゝ
めゝまり絵ゝしれぬまたいつまでせた
ましいぬしのかたりふるへくもまいり
てちゝいとゝふくもあれふるとりい絵て
ぽゝくゝとゝまりきまたもあま
ゝゆゝふいゝうのゝ形ゝしなたゝ
やちゝらんゝれゝゝらもゝゝゝあゝふ
ゝりい絵ゝりゝゝのたゝはゝりいてて

めゝくゝせゝとゝんゝゝゝまゝまゝとゝかゝと
いゝゝむゝゝゝてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
めゝまゝゝゝゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くゝゝゝ物ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝんゝ命ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

むらさきんぢまち（ふるさとにくうりの河岸も
くれ行くせ後まで　うつ後とかたりの素ふと
まるいのらも侍とうやはぐ　ぐいそのもとへ
みるめ行いのせの　ゑめふわうも行くうり
きりかくもうかくふいをかく後へ水流
行らもいるまふ行かりうりそとみ
行くぐきるをいんもいんわるまり
ゑめんいり（ぐ後せ行りとそいうゑみや
えーとうゑ行くしうかりめる

しかくかくせ後（ぐいゑ行ふ行ふる後
んのらをたふまくせ後まで行りと
うかくせ後（ぐ）くむくとうをを
やゑせ行くゑ行もうへかるかく行大
くふ行もゑゑふおろうみとせ後ゑ
ふいくゑとふやうみかいかるへ
かくのかりまくりゑうくりわんん
ぐいのられもいくやわくまふい
くいくう行くしうへそふ行くとう

[illegible]
やうもなきなり

いとゞもとゝんふもとらにやかく
りふゝいまゝうかうまとかういをたせ
絶へるまふやうのかりわかりふゝとも四
十九日ありてもいさうりわへくらゝさ
るもだをおらてうふうるんもたにかたせん
終

[illegible]

[illegible]
るいはやうふのやうもと
るふいたこうまうとうもとうとかうく
ゝこかりそわ絶へるゝゆるゝいうとうゝ
ういうゝるふゝとりふゝりはうゝかう
ゝりわたうまうとうゝ弥い
た絶へり月ゝかまたのけあ
ゝういうゝるく校ゝたけまいんけを
ふかゝうりたうけんゝをうゝう
ゝくゝゝ無さゝうふ木の下ゝの者ふい

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうりあやしうはこう長のさうう
もちゐるこうこうはくはいうく百車のわるをり
きしくありきりはふきやうこうのゆんぜんと
戒線（ゆもいとわまりかもわうるおてをを
あつき線（ゆいもしいとかくとみ線ふかもん
玉線ふんの中をみ線くいふかたをみ線
はたらう（きをいうこまり線き海かをふ
らい線ら（のりり線うん四もはくうの車か
ときこわもくく線ふもうくもいら人

もち線ひんさりゆはせくを線（ゆ嗅ふ
出玉線（ゆきはく帝をはきにふ海りはをはは
ときてはてんけく儀のせをこらせ線て
を、いかくはおりまたくこはくもと
はくしりうんとこはを玉線（ときはもをを
きふふよ玉いかふうは海りく線ふとこいはく
院のさはく線ふかはをふ海り線ふさうん
もをんかりかんとくまりいはき線（ゆを
かやとくをはうはくはくはを線りて玉ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くもゐなりける絵をかきて
ゆくすゑのけぶりをとりかけて
いろいろ物ふかうしうして神もえをに
こゝろのまゝにかきあらはしてい
例のやうにみたりつゝ
こゝろのまゝ絵にかきとゝめ
しかれど大白牛車を笑ひ
をこがましく絵ひてゝいかゝ
を出給ふ人ありかをもかくしたそむきて

小きくんれかりかゝ我かゝわりこゝ笑ひ
きゝかふ源のこゝろ
かゝれこゝまゝ
かたちりもやまを無かふんかゝこみ絵
新面けいこの世のかふ
やりわゝ波しうをきゝ
きりとゝ